



1月園だより

学校法人 志賀学園
久之浜こども園
令和8年1月7日

明けましておめでとうございます。

今年も子どもたちの楽しい声が、園舎内外に響きわたるように、職員一同笑顔いっぱいで頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年1月5日、園児の皆様をお預かりする前に、志賀学園全職員が一堂に会し理事長先生より年頭のご挨拶をいただきました。毎年恒例のことですが、年の初めに4月からスタートする新年度の教育方針が提示されます。3学期が終わるとすぐに新年度が始まります。3学期は進学進級に向けて大切な学期でもあり新年度に備えるための助走期間にもなる訳です。令和8年度の教育方針は『こどもたちの「やってみたい！」に応える保育をしよう』です。私たち職員は、こども第一主義、子どもの笑顔を最優先に考え、あたたかみが感じられる保育環境を整え4月を待たずして、保育者もこどもと一緒に楽しみながら遊びを深めていきたいと考えています。

さて、1月はお正月にちなんだ数々の伝統行事を楽しみたいと思っています。

1月11日は鏡開きです。11日は日曜日ですので園では9日（金）に鏡開きを行います。

「鏡」は円満、「開」は未広がりを意味しているそうです。こども園の神棚にお供えしていた鏡餅を子どもたちと一緒に小槌でたたいて細かくし、給食の先生に揚げ餅にしてもらいたい食べたいと思います。

また、昔から親しまれているお正月遊びも伝えていきたいと思います。

古来から、羽根つきには厄払い、凧揚げには願い事にのせて天に届けるというなどの意味があったようです。園では、こま回し、凧揚げ、羽根つき、カルタ、双六、福笑いなどを年齢に応じてたくさん経験させたいと思います。

お正月にたくさんおいしい物を食べて、お腹が疲れていませんか？今日7日は「七草粥を食べる日」ですが、朝食に七草粥を召し上がったご家庭も多かったのではないでしょうか。七草粥とは、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロを入れた粥で、疲れたお腹にぴったりの食べ物です。昔の人の生活の知恵ですね。このような習慣は大切にしていきたいことです。秋の七草は見て楽しむのに比べ、春の七草は食べて楽しむものです。最近ではスーパーでも売っていますが、セリやナズナはよく見ると、川の土手や野道にも生えていますので、お時間のある時にはお子様とお散歩をして、探してみるのもよいですね。

《春の七草》

【セリ】 【ナズナ】 【ゴギョウ】 【ハコベラ】 【ホトケノザ】 【スズナ】 【スズシロ】

